

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2015年11月13日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自 2015年7月1日 至 2015年9月30日）
【会社名】	株式会社WDI
【英訳名】	WDI Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役 清水 謙
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03(3404)3704(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03(3404)3704(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第2四半期連結 累計期間	第62期 第2四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自 2014年4月1日 至 2014年9月30日	自 2015年4月1日 至 2015年9月30日	自 2014年4月1日 至 2015年3月31日
売上高 (千円)	11,446,375	13,526,240	23,691,577
経常利益 (千円)	330,687	676,380	889,718
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	87,065	216,686	141,174
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	162,026	411,967	561,221
純資産額 (千円)	1,778,045	2,367,926	2,096,427
総資産額 (千円)	9,974,757	11,974,778	10,491,174
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	13.75	34.22	22.30
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	15.3	16.3	16.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	479,446	523,669	1,520,857
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	784,491	637,372	1,191,490
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,087,153	1,352,551	563,344
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,037,018	3,421,344	2,183,237

回次	第61期 第2四半期連結 会計期間	第62期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2014年7月1日 至 2014年9月30日	自 2015年7月1日 至 2015年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.47	13.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られたことにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

海外経済におきましては、米国では個人消費の底堅さを背景に回復傾向が持続いたしました。欧州では、良好な雇用・所得環境により緩やかな回復基調で推移いたしました。新興国では、一部の国で景気減速を背景に成長鈍化が見受けられました。

外食産業におきましては、個人消費に回復の兆しは見られるものの、原材料価格の高騰が継続していること等により、先行きは不透明な状況で推移するものと認識しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、中長期的な成長の基盤を構築すべく既存店舗の収益安定を図るとともに、ブランド群の拡充を進めるべく新業態の導入を模索してまいります。また将来における海外の事業基盤を強化させるため、合併事業やフランチャイズ事業を含めた出店地域の更なる拡大に取組んでまいります。

新規出店については、日本国内において、「カプリチオーザ」をさいたま市のコクーンシティに1店舗、「エッグスンシングス」をさいたま市のコクーンシティに1店舗、大阪市のザ パーク フロント ホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに1店舗の計2店舗、「サラベス」「ウルフギャング・ステーキハウス」を大阪市のルクアイーレに各1店舗、「ロメスパバルボア」を台東区の御徒町に1店舗出店いたしました。

フランチャイズ展開におきましては、日本国内において「カプリチオーザ」を2店舗出店いたしました。海外では、「カプリチオーザ」をマレーシアに1店舗出店いたしました。

業績につきましては、以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,526百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は710百万円（前年同期比111.4%増）、経常利益は676百万円（前年同期比104.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は216百万円（前年同期比148.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 日本

国内では、売上高は9,718百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は664百万円（前年同期比99.0%増）となりました。

#### 北米

北米では、売上高は2,685百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は147百万円（前年同期比99.3%増）となりました。

#### ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は841百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は103百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

#### アジア

アジアでは、売上高は318百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失は16百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,421百万円となり、前年同四半期連結累計期間より1,384百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は523百万円(前年同期は479百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が539百万円及び減価償却費の計上が329百万円あった一方で、法人税等の支払額が198百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は637百万円(前年同期は784百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が626百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は1,352百万円(前年同期は1,087百万円の増加)となりました。これは主に長期借入れによる収入が2,600百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が1,107百万円あったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,127,680
計	22,127,680

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2015年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2015年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,331,920	6,331,920	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,331,920	6,331,920	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2015年7月1日～ 2015年9月30日	-	6,331,920	-	585,558	-	588,655

( 6 ) 【大株主の状況】

2015年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
Soken Corp.	東京都港区三田2-3-34-401	1,512,000	23.87
清水 洋二	東京都港区	1,408,240	22.24
清水 謙	東京都港区	169,200	2.67
WDI従業員持株会	東京都港区六本木5-5-1	157,540	2.48
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	97,700	1.54
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	81,000	1.27
清水 宏子	東京都港区	72,300	1.14
サントリー酒類株式会社	東京都港区台場2-3-3	60,000	0.94
麒麟麦酒株式会社	東京都中野区中野4-10-2	40,000	0.63
孫 正義	東京都港区	36,000	0.56
計	-	3,633,980	57.39

( 7 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2015年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,330,000	63,300	-
単元未満株式	普通株式 1,520	-	-
発行済株式総数	6,331,920	-	-
総株主の議決権	-	63,300	-

【自己株式等】

2015年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社W D I	東京都港区六本木 五丁目5番1号	400	-	400	0.01
計	-	400	-	400	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

#### 第4【経理の状況】

##### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

##### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2015年7月1日から2015年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,183,237	3,421,344
売掛金	523,491	537,090
たな卸資産	603,095	665,688
預け金	450,681	529,082
繰延税金資産	243,714	229,932
その他	310,777	267,951
貸倒引当金	33,032	33,535
流動資産合計	4,281,964	5,617,554
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,843,084	7,284,814
減価償却累計額	4,050,536	4,232,291
建物及び構築物(純額)	2,792,547	3,052,523
工具、器具及び備品	2,321,174	2,450,857
減価償却累計額	1,786,240	1,887,851
工具、器具及び備品(純額)	534,934	563,005
土地	232,941	232,941
建設仮勘定	133,701	12,698
その他	41,429	39,979
減価償却累計額	30,625	30,553
その他(純額)	10,804	9,425
有形固定資産合計	3,704,928	3,870,594
<b>無形固定資産</b>		
その他	242,336	241,900
無形固定資産合計	242,336	241,900
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	1,620,742	1,624,939
繰延税金資産	412,767	428,766
その他	228,758	191,346
貸倒引当金	323	322
投資その他の資産合計	2,261,944	2,244,730
固定資産合計	6,209,209	6,357,224
資産合計	10,491,174	11,974,778



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	803,670	766,182
1年内返済予定の長期借入金	1,779,000	2,140,000
未払金	859,385	727,290
未払法人税等	167,505	115,658
賞与引当金	236,058	249,499
販売促進引当金	10,200	11,500
資産除去債務	12,828	61,020
その他	858,551	731,293
流動負債合計	4,727,199	4,802,445
固定負債		
長期借入金	3,267,500	4,399,500
退職給付に係る負債	8,794	8,391
その他	391,252	396,515
固定負債合計	3,667,547	4,804,407
負債合計	8,394,747	9,606,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,558	585,558
資本剰余金	588,655	588,655
利益剰余金	590,538	756,573
自己株式	322	322
株主資本合計	1,764,428	1,930,464
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,776	16,204
その他の包括利益累計額合計	3,776	16,204
非支配株主持分	328,222	421,257
純資産合計	2,096,427	2,367,926
負債純資産合計	10,491,174	11,974,778

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上高	11,446,375	13,526,240
売上原価	3,245,389	4,123,794
売上総利益	8,200,985	9,402,446
販売費及び一般管理費	7,864,788	8,691,754
営業利益	336,197	710,691
営業外収益		
受取利息	3,444	2,210
為替差益	22,514	-
その他	11,470	3,811
営業外収益合計	37,429	6,021
営業外費用		
支払利息	32,001	36,208
その他	10,937	4,124
営業外費用合計	42,939	40,332
経常利益	330,687	676,380
特別利益		
固定資産売却益	-	4,850
立退料収入	126,770	-
受取補償金	45,051	-
特別利益合計	171,821	4,850
特別損失		
固定資産売却損	1,090	139
固定資産除却損	44,432	732
減損損失	104,485	69,186
店舗閉鎖損失	58,276	71,851
特別損失合計	208,285	141,910
税金等調整前四半期純利益	294,223	539,320
法人税等	89,674	141,667
四半期純利益	204,549	397,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	117,484	180,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,065	216,686

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
四半期純利益	204,549	397,653
その他の包括利益		
為替換算調整勘定(税引前)	42,522	14,314
その他の包括利益合計	42,522	14,314
四半期包括利益	162,026	411,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,158	229,114
非支配株主に係る四半期包括利益	110,868	182,852

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	294,223	539,320
減価償却費	297,356	329,710
賞与引当金の増減額(は減少)	20,518	13,441
貸倒引当金の増減額(は減少)	11,972	8
受取利息	3,444	2,210
支払利息	32,001	36,208
為替差損益(は益)	20,485	1,494
固定資産売却損益(は益)	1,090	4,710
店舗閉鎖損失	58,276	71,851
固定資産除却損	44,432	732
減損損失	104,485	69,186
受取補償金	45,051	-
立退料収入	126,770	-
売上債権の増減額(は増加)	209	11,285
たな卸資産の増減額(は増加)	23,862	60,783
その他の流動資産の増減額(は増加)	5,548	89,455
仕入債務の増減額(は減少)	26,997	40,050
その他の流動負債の増減額(は減少)	84,829	167,642
その他の固定負債の増減額(は減少)	1,009	4,022
その他	3,546	870
小計	759,792	688,967
利息の受取額	8,153	2,210
利息の支払額	32,543	38,442
法人税等の支払額	264,432	198,900
法人税等の還付額	8,476	69,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,446	523,669
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	677,766	626,497
有形固定資産の売却による収入	1,146	1,631
無形固定資産の取得による支出	19,439	21,331
無形固定資産の売却による収入	-	7,530
長期貸付けによる支出	900	1,000
長期貸付金の回収による収入	16,499	60,545
敷金及び保証金の差入による支出	103,034	48,352
敷金及び保証金の回収による収入	18,306	43,668
その他	19,301	53,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	784,491	637,372

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	720,532	300,000
短期借入金の返済による支出	720,532	300,000
長期借入れによる収入	1,900,000	2,600,000
長期借入金の返済による支出	753,000	1,107,000
配当金の支払額	38,820	50,630
非支配株主への子会社減資による支出	31,026	-
非支配株主からの払込みによる収入	10,000	-
非支配株主への配当金の支払額	-	89,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,087,153	1,352,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,272	741
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	813,381	1,238,107
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,636	2,183,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,037,018	3,421,344

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は次のとおりです。

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
商品	181,449千円	187,355千円
原材料及び貯蔵品	421,646	478,333
計	603,095	665,688

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
給与手当及び雑給	3,106,929千円	3,433,579千円
賃借料	1,129,800	1,298,618
消耗品費	463,167	542,316
賞与及び賞与引当金繰入額	235,070	264,177

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
現金及び預金勘定	2,037,018千円	3,421,344千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	2,037,018	3,421,344

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2014年6月26日 定時株主総会	普通株式	37,989	利益剰余金	6	2014年3月31日	2014年6月27日

当第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2015年6月24日 定時株主総会	普通株式	50,651	利益剰余金	8	2015年3月31日	2015年6月25日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	ミクロネシア	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,076,252	2,304,257	776,795	289,070	11,446,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,937	7,500	-	-	34,437
計	8,103,189	2,311,757	776,795	289,070	11,480,812
セグメント利益 (は損失)	333,934	73,838	125,075	1,170	531,678

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	531,678
全社費用(注)	196,430
その他の調整額	949
四半期連結損益計算書の営業利益	336,197

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、閉鎖に伴う資産の除却が見込まれる店舗及び閉鎖した店舗が存在したため、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において104,485千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	ミクロネシア	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	9,688,407	2,678,031	841,336	318,465	13,526,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,441	7,500	-	-	37,941
計	9,718,848	2,685,531	841,336	318,465	13,564,181
セグメント利益 (は損失)	664,371	147,140	103,631	16,625	898,517

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	898,517
全社費用(注)	188,692
その他の調整額	866
四半期連結損益計算書の営業利益	710,691

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、閉鎖に伴う資産の除却が見込まれる店舗が存在したため、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において69,186千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13.75円	34.22円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	87,065	216,686
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	87,065	216,686
普通株式の期中平均株式数(株)	6,331,510	6,331,451

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月5日

株式会社W D I

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 新井 達哉 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石原 鉄也 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社W D Iの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社W D I及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。